

(別紙3)

評価細目（福祉サービス別項目【障害者・児施設版】）の福祉サービス評価結果

評価分類1 利用者の尊重

1-(1) 利用者の尊重

評価細目	評価結果
1-(1)-① コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	a・ <b>b</b> ・c
1-(1)-② 利用者の主体的な活動を尊重している。	<b>a</b> ・b・c
1-(1)-③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	<b>a</b> ・b・c
1-(1)-④ 利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある。	a・ <b>b</b> ・c
1-(1)-⑤ 虐待等（体罰、身体拘束、暴言、暴力、無視、放置等）の人権侵害の防止策及び万々に備えた対応方法が定められている。	<b>a</b> ・-・c
<b>評価所見</b> ■ 言葉でのコミュニケーションが難しい方に対しては、必要に応じて意思表示カードや場所カードなどを用いながら表情や態度から一人ひとりの意向を汲み取り支援されています。サービス計画への反映や臨床心理士等専門家との関わりなど更なる積極性を期待します。 ■ 利用者の障がいの程度や能力に応じたグループでの様々な作業など、利用者の主体的な活動を尊重した取り組みが見受けられます。併せて、日常生活では利用者の能力等を見極めたうえで、自力での活動を見守りの姿勢で支援されています。しかし、利用者の人権意識を高めるような取り組みなどは今後の課題と言えます。 ■ 職員の行動規範の中に、プライバシー侵害への注意を促す文面が明示されるなど、利用者の人権侵害の防止に向けた姿勢が明文化され、サービス場面においてもその実現を目指されています。身体拘束の廃止にも取り組まれており、やむを得ず身体拘束等を行う場合には、定められた様式にて必要な記録が残される仕組みが見受けられます。	

評価分類2 日常生活支援

2-(1) 食事

評価細目	評価結果
2-(1)-① サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	<b>a</b> ・b・c
2-(1)-② 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	<b>a</b> ・b・c
2-(1)-③ 喫食環境（食事時間を含む）に配慮している。	<b>a</b> ・b・c
<b>評価所見</b> ■ 嗜好や除去食を把握したうえで、サービス実施計画に基づいた個別の食事形態での提供が行われています。嗜好についての意思確認も困難な利用者が多い中で、担当職員により一人ひとりの利用者の嗜好が把握され、セレクトメニューや自家製のパンの提供なども行われるなど、手作りを基本として食事を楽しめるように配慮されています。 ■ 食事の配膳も、希望に応じて利用者が手伝われ、食事スペースの入口には利用者手書きのメニューが掲示されています。 ■ 喫食環境については、状態や希望にあわせて複数の場所が用意されており、時間を変えるなどの配慮もされています。	

2-(2) 入浴

評価細目	評価結果
2-(2)-① 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	Ⓐ・b・c
2-(2)-② 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	a・Ⓑ・c
2-(2)-③ 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	Ⓐ・-・c
<b>評価所見</b> ■ 入浴は、アセスメントにおいて一人ひとりの状態が把握され、サービス実施計画に沿った支援が行われています。利用者毎に個人的事情に配慮して作成された手順に基づき、入浴介助が行われる仕組みも整備されています。 ■ 夏場は毎日の入浴を実践されていますが、入浴の時間帯は定められています。 ■ 浴室・脱衣場は広さが確保され、温度調節は利用者による誤操作への対策として、浴室外で職員が行う仕組みとされるなど、利用者が安全で快適に入浴できるように配慮されています。	

2-(3) 排泄

評価細目	評価結果
2-(3)-① 排泄介助は快適に行われている。	Ⓐ・-・c
2-(3)-② トイレは清潔で快適である。	Ⓐ・-・c
<b>評価所見</b> ■ 排泄介助は一人ひとりの利用者の排泄のリズムを把握したうえで、同性による介助が行われています。 ■ トイレは清潔に保たれており、洗剤や薬品などについては誤って使用されないことがないように別の場所で保管されるなど、利用者の安全確保に対する配慮もうかがえます。	

2-(4) 衣服

評価細目	評価結果
2-(4)-① 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	Ⓐ・b・c
2-(4)-② 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	Ⓐ・b・c
<b>評価所見</b> ■ 毎日の服装は、利用者の意向を確認し、日常着と寝間着を着替えるように支援されています。 ■ 気温の変化や体調に配慮しながら衣服の調整をされ、汚れや破損があれば随時着替えを促すなどの支援に努められています。	

2-(5) 理容・美容

評価細目	評価結果
2-(5)-① 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	Ⓐ・b・c
2-(5)-② 理髪店や美容院の利用について配慮している。	Ⓐ・-・c
<b>評価所見</b> ■ 職員は必要に応じて、整髪や化粧を手伝わられています。 ■ 希望に応じて地域の理髪店の利用も行われており、定期的な理容師の訪問による散髪も提供されています。	

2-(6) 睡眠

評価細目	評価結果
2-(6)-① 安眠できるように配慮している。	Ⓐ・-・c
<b>評価所見</b> ■ 居室は個室もしくは二人部屋であり、希望に応じて使い慣れた私物や寝具等を持ち込まれ、利用者が落ち着くような空間作りを心がけられています。 ■ 夜間も利用者の状態を総合的に判断し、安眠に向けた支援ができるよう個別対応が可能な人員体制を採られています。	

## 2-(7) 健康管理

評価細目	評価結果
2-(7)-① 日常の健康管理は適切である。	Ⓐ・-・c
2-(7)-② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	Ⓐ・b・c
2-(7)-③ 内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	a・-・Ⓒ
<b>評価所見</b> ■ 日常の健康状態は、利用者からの申し出のほか、表情観察や排泄の状況、入浴の際の気づきなど、生活の様々な場面での観察が行われ健康管理に努められています。また、定期的な健康診断も行われています。主治医の選択についても、協力医療機関のみならず利用前からの主治医を選択できるよう配慮されています。 ■ 地域内の医療機関とも連携が図られており、併設施設と併せて敷地内に看護師も常駐している環境にあります。 ■ 薬剤に関しては、看護師のみが出入り可能とされている医務室で管理され、施錠など保管には細心の注意が払われています。服薬については、飲みこぼしや誤薬のなどが事故報告書に残され、再発防止に向け幾つかの対応策を採られている状況です。マニュアルの周知と対応策の評価・見直しにより、事故防止が徹底されることを期待します。	

## 2-(8) 余暇・レクリエーション

評価細目	評価結果
2-(8)-① 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	Ⓐ・b・c
<b>評価所見</b> ■ レクリエーションや季節の行事等は利用者の意思を尊重しながら、積極的に参加されるよう支援されています。日頃は棟毎での活動が行われていますが、毎週水曜日の午前中は全体でゲームなどのレクリエーションに取り組みされており、誕生会なども催されています。 ■ 余暇については、施設内で過ごされるほか、地域のお店での買い物や外食、温泉、ゲームセンター、ドライブなど利用者が希望に沿って過ごせるような取り組みも見受けられます。	

## 2-(9) 外出、外泊

評価細目	評価結果
2-(9)-① 外出は利用者の希望に応じて行われている。	a・Ⓑ・c
2-(9)-② 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	Ⓐ・b・c
<b>評価所見</b> ■ 外出は、利用者の希望に沿えるよう取り組まれています。利用者の状態に応じてその頻度に差が生じることや、職員同行が必要な利用者が多いために、十分な対応には至っていない状況がうかがえます。 ■ 外泊については、ご家族の負担軽減も考慮しながら職員が連絡・調整し、希望に沿って実現できるよう努められています。また、外泊が困難な利用者についても、代わりにドライブに出かける等、利用者の気持ちへの配慮もうかがえます。	

## 2-(10) 所持金・預かり金の管理等

評価細目	評価結果
2-(10)-① 預かり金について、適切な管理体制が整備されている。	Ⓐ・b・c
2-(10)-② 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	Ⓐ・-・c
2-(10)-③ 嗜好品（酒、たばこ等）については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	a・-・Ⓒ

#### 評価所見

- 預かり金は個人別に管理され、年に一回は保護者に収支報告が行われています。現在は自己管理が可能な利用者は入所されていない状況です。
- 新聞・雑誌等の購入に制限は設けられておらず、テレビやラジオ等の個人所有も基本的には自由とされています。
- 嗜好品（酒、たばこ）については、施設が設立当初知的障害児のための施設であったため、また、安全面および健康面への配慮から禁止とされています。